



地域包括医療・ケアの更なる推進に向けて

「第23回熊本県国保地域医療学会」を開催
29題の研究発表、特別講演を実施



平成30年10月27日(土)にホテル熊本テルサで、熊本県国民健康保険診療施設協議会・熊本県市町村保健師協議会・熊本県国民健康保険団体連合会主催のもと「第23回熊本県国保地域医療学会」を開催し、熊本県内の国民健康保険診療施設から医師・看護師、市町村から事務担当職員や保健師、また、熊本大学医学部医学科地域卒の学生ら総勢330人以上が参加した。

はじめに、内野良仁学会長(熊本市立植木病院長)の開会挨拶、坂本不出夫熊本県国診協会長(国保水俣市立総合医療センター事業管理者)の主催者挨拶に続き、来賓として熊本県の田原牧人健康局長に御挨拶をいただいた。

次に、第22回学会(昨年10月28日開催)における研究発表優秀者表彰式を行い、内野学会長から受賞者に表彰状が手渡され、受賞者を代表して最優秀賞の国保水俣市立総合医療センター看護師の溝上より子氏が受賞の弁を述べた。

引き続き、研究発表に移り、次の5セッションに分かれ、29題の研究発表があった。

- 看護に関するもの
- 介護、在宅医療・ケア、歯科・口腔ケアに関するもの
- 保健事業、看護に関するもの
- IT、リスクマネジメント、連携、熊本地震に関するもの
- 臨床、リハビリに関するもの



その後、内野学会長司会のもと、長崎大学大学院教授の前田隆弘氏を講師に迎え「地域ぐるみの医療人育成～地域と大学の本格連携を目指して～」と題して講演が行われた。講演内容は、本学会のテーマである「地域包括医療・ケアの更なる推進に向けて」と重なる部分が多く、参加者は地域包括について考えなければならない視点などについて学び、実りある時間となった。

最後に、岩下美穂副学会長（熊本県市町村保健師協議会長）が閉会の辞を述べて閉会した。

全プログラム終了後に、研究発表最優秀者等の選定が各演題の座長、審査員により行われ、以下のとおり、最優秀者 1 名と優秀者 4 名が決定された。受賞者の表彰式は 2019 年 10 月 26 日（土）に開催予定の第 24 回熊本県国保地域医療学会で行う予定であり、さらに、最優秀者には 2019 年 10 月 4～5 日に長崎県で開催予定の第 59 回全国国保地域医療学会で研究発表していただく予定である。

最 優 秀 者	国民健康保険八代市立病院 医師 森崎哲朗 氏	医科・歯科連携により経口摂取を継続しながら在宅医療で看取った高齢者口腔癌の 1 例
優 秀 者	山都町包括医療センター そよう病院 看護師 廣本恵美 氏	業務改善 ～ロング日勤の負担軽減へ向けての取り組み～
	錦町役場健康保険課 保健師 藤川絹代 氏	生活習慣病予防のための中学生の健康診断の取り組み
	山都町包括医療センター そよう病院 臨床工学技士 藤本清貴 氏	より良い透析室カンファレンスを目指して
	国保水俣市立総合医療センター 認定理学療法士（循環） 心臓リハビリテーション指導士 永田光寿 氏	重症急性心筋梗塞に対して CPX データを基に心臓リハビリテーションを実施し、生命予後の改善及び職場復帰に至った症例